

はにわ通信

No.340 令和5(2023)年 7月号

7月22日から「草山遺跡
～あるムラの記録～」を
開催するよ！



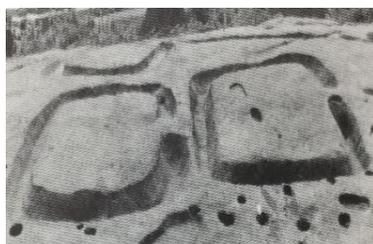
【草山遺跡 ～あるムラの記録～】

7月22日から夏季企画展「草山遺跡 ～あるムラの記録～」を開催します。今月は、弥生時代後期のムラの姿が想像できる草山遺跡について紹介します。

現在、パークタウン学園前という住宅団地になっている丘には、草山遺跡(久保町・下村町)がありました。ここを住宅団地に造成するにあたり、昭和57(1982)年から昭和60(1985)年までの3年間、発掘調査が実施されました。その結果、①弥生時代後期から古墳時初め、②古代(奈良時代)、③中世(鎌倉時代から室町時代)の3つの異なる時期の竪穴、掘立柱などの建物跡や生活道具がたくさん確認されています。



草山遺跡全景



方形周溝墓

今回は、その3つの時期の中でもっとも古い弥生時代後期から古墳時代初めの「ムラ」の跡について紹介します。

ムラには住まいである竪穴建物が多数確認されました。そのムラの外れには、弥生時代の終わり頃の方形溝周墓が20基ほど確認されました。方形周溝墓とは、四角形に土が盛られたお墓

で、古墳が造られる前のものです。溝に囲まれて、一辺が10mを超えるものから4mに満たないものまで確認されています。

また、方形台状遺構という、長方形に盛土された遺構が確認されています。その盛土の中から、多数のミニチュア土製品(人、獣、鏡、玉類等)が出土しました。このような遺構は全国でも珍しく、貴重な発見でした。それらの出土品からみて、人々の祀りの場であったと考えられています。人々が豊作や天候、健康などを願っていたのでしょう。

さらに、草山遺跡からは、小銅鐸という風鈴ほどの大きさの銅鐸が出土しています。また、銅鐸とともに舌という音を鳴らす部品が出土しています。ぜひ、はにわ館で実物をご覧ください。



出土したミニチュア土製

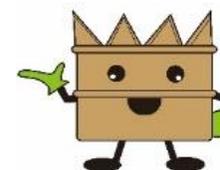


小銅鐸の一部(左) 複製品(右)

【文化財センターの紹介 3、宝塚古墳の発掘調査1】

文化財センターが大きく注目される機会となったのは、平成11(1999)年からはじまった宝塚古墳の発掘調査です。宝塚古墳は、宝塚町と光町にまたがる国指定史跡で、伊勢平野最大の1号墳とその隣にある2号墳からなります。1号墳は、その規模から伊勢平野の広い範囲に影響を及ぼすほどの人物の古墳とみなされ、2号墳は、その後継者の古墳と考えられています。周辺の開発が進む中で、古墳は残ったままでしたので、この貴重な国史跡を残すだけでなく、地域の歴史として、もっと知ってもらえるように、活用することになりました。

そのため、国や県の指導を得ながら宝塚古墳をきちんと発掘調査して、その古墳の詳しい規模や構造を調べた上で、市民に親しまれる古墳公園にしようという目的で、発掘調査が平成15(2003)年まで行われました。



宝塚1号墳 復元整備された造り出し部分

文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】入館料 110円 (18歳以下無料) 開館時間は 9:00~17:00 入館は 16:30 まで

第1展示室 常設展 「宝塚古墳の謎」	文化財センターの情報はこちら ⇒	
第2展示室 夏季企画展「草山遺跡～あるムラの記録～」	7/22(土)～9/3(日)	
第2展示室 ミュージアムトーク	7/22(土) 13時半～14時半 ※事前申込不要	
中学生ボランティアガイド	7/30(日)・8/5(土)・8/6(日)・8/11(金・祝) 10時半～12時、13時半～15時 ※ボランティアガイド開催時間帯は入館無料	
ポイントラリー	7/29(土)・7/30(日) 9時半～16時	

【ギャラリー】 入場無料

第2G	伊藤清和大作展(1981～2022)	7/13(木)～7/17(月・祝)	9時～17時	※最終日は15時まで
第1～2G	まつさかのほいくえん・こどもえん 園児造形展 ～まつさかのちっちゃなアーティストたち～	7/22(土)～7/30(日)	9時半～16時半	
第3G	広島の高校生が描いた“原爆の絵”展	7/22(土)・7/23(日)	9時～17時	※初日は11時から、最終日は16時まで
第3G	平和展 ～戦争の実相にせまる～	7/29(土)・7/30(日)	9時～17時	※最終日は15時半まで

< 7月の休館日 3日(月) 10日(月) 18日(火) 24日(月) 31日(月) >

【発行】松阪市文化財センター

【☎】0598-26-7330 【HP】<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>